

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-C45

申請日	2023/7/26	承認日	2023/8/14	委員長	印
レジメン登録	2023/9/28	仮承認日		承認者	印

Pertuzumab + Trastuzumab	病名	大腸癌	外科	医師名	Dr
対象	がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div. iv. po等)	投与スケジュール (日)									
			1	5	10	15	20	25	30			
パージェタ (ペルツズマブ)	初回840mg/body	div	○									
	2回目以降 420mg/body	div						○				
ハーセプチン (トラスツズマブ)	初回8mg/kg	div	○									
	2回目以降 6mg/kg	div						○				

投与間隔・休薬期間等：21日=1コース



1コース

Perは前回投与から6週未満の場合は420mg、6週以上空いた場合は840mg投与する。

Traは投与予定日から1週間以内の遅れは6mg/kg、1週間を超えた場合は8mg/kgを投与する。

【投与処方例 (前投薬など)】

ジクロフェナクNa坐剤12.5~50mg挿肛 (ペルツズマブ・トラスツズマブ両方もしくはいずれかが初回量の時)

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤】 生理食塩水250mL+ペルツズマブ /div

中津市立中津市民病院 がん化学療法委員会<無断転用禁止>

初回量(840mg/body)60分、2回目以降量(420mg/body)30分

③ メイン【白-1】 生理食塩水100mL /div (ペルツズマブ初回量時60分、2回目以降量時30分)

④ メイン【白-2】 生理食塩水250mL+注射用水+トラスツズマブ /div

初回量(8mg/kg)90分、2回目以降量(6mg/kg)30分

注射用水は150mg:7.2mL、60mg:3mLで溶解

トラスツズマブ投与終了後30分はメインルートキープにつないで様子を見ること。

【中止等の考え方】

有害事象がペルツズマブと関連する場合には、ペルツズマブのみ休薬しトラスツズマブは継続投与が可能。トラスツズマブを休薬の場合は、ペルツズマブも中止。

【検査について】

ペルツズマブ・トラスツズマブ

開始前に、心エコー・心電図検査を行うこと。また、3ヶ月に1回評価を行うこと。EF \geq 50%が開始基準である。

EF $<$ 50%の患者で開始前よりEFが10%以上低下した場合は、ペルツズマブ・トラスツズマブの投与を延期し、3週間以内にEFを再測定行なうこと。場合により循環器内科に対診し、心毒性の治療を行なうこと。

ペルツズマブ・トラスツズマブは減量は許容しない。

参考文献：パージェタ+ハーセプチン併用療法適正使用ガイド

Nakamura Y, et al. Nat Med. 2021; 27: 1899-1903